



平成28年3月期 第3四半期

(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

決算短信(連結)補足資料

FUJI フジ住宅株式会社

平成28年1月29日(金)

平成28年3月期 第3四半期業績

連結業績のポイント

- ◆ 当第3四半期の連結業績は前年同期に比べ大幅な増収・増益となりました。
- ◆ 通期の連結売上高予想は、当社創業以来、最高の900億円を達成する見込みです。

目次

PAGE

1. 平成28年3月期 第3四半期連結累計期間
決算サマリー(平成27年4月1日～平成27年12月31日)
2. 通期連結売上高予想に対する進捗状況
3. 四半期毎の売上高計画推移(平成27年4月1日～平成28年3月31日)
4. 四半期毎の受注状況計画推移(平成27年4月1日～平成28年3月31日)
5. 事業セグメント別連結売上高(前年同期比較)
6. 事業セグメント別営業利益(前年同期比較)
7. 事業セグメント別受注契約高(前年同期比較)
8. 平成28年3月期の配当について
9. トピックス
10. 業績予想の適切な利用に関する説明

幸せはこぶ住まいづくり

平成28年3月期 第3四半期連結累計期間決算サマリー

(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

1. 当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高63,738百万円(前年同期比17.1%増)、営業利益3,419百万円(同41.4%増)、経常利益3,317百万円(同40.4%増)、四半期純利益2,181百万円(同42.9%増)となりました。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前第3四半期実績	百万円 54,424	百万円 2,419	百万円 2,363	百万円 1,526
当第3四半期実績	百万円 63,738	百万円 3,419	百万円 3,317	百万円 2,181
前年同期比	17.1%増	41.4%増	40.4%増	42.9%増

2. 本日付(平成28年1月29日)で、通期の業績予想の上方修正を行いました。(発表資料をご参照下さい)
(平成27年4月1日～平成28年3月31日 予想)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
期初予想	百万円 88,000	百万円 4,800	百万円 4,600	百万円 3,000
業績予想修正 (平成28年1月29日付予想)	百万円 91,000	百万円 5,100	百万円 5,000	百万円 3,200
増加額	百万円 3,000	百万円 300	百万円 400	百万円 200
増加率(%)	3.4%	6.3%	8.7%	6.7%

通期連結売上高予想に対する進捗状況

	平成28年3月期 第3四半期実績	平成28年3月期 通期予想	進捗率
連結売上高	63,738 百万円	91,000 百万円	70.0 %

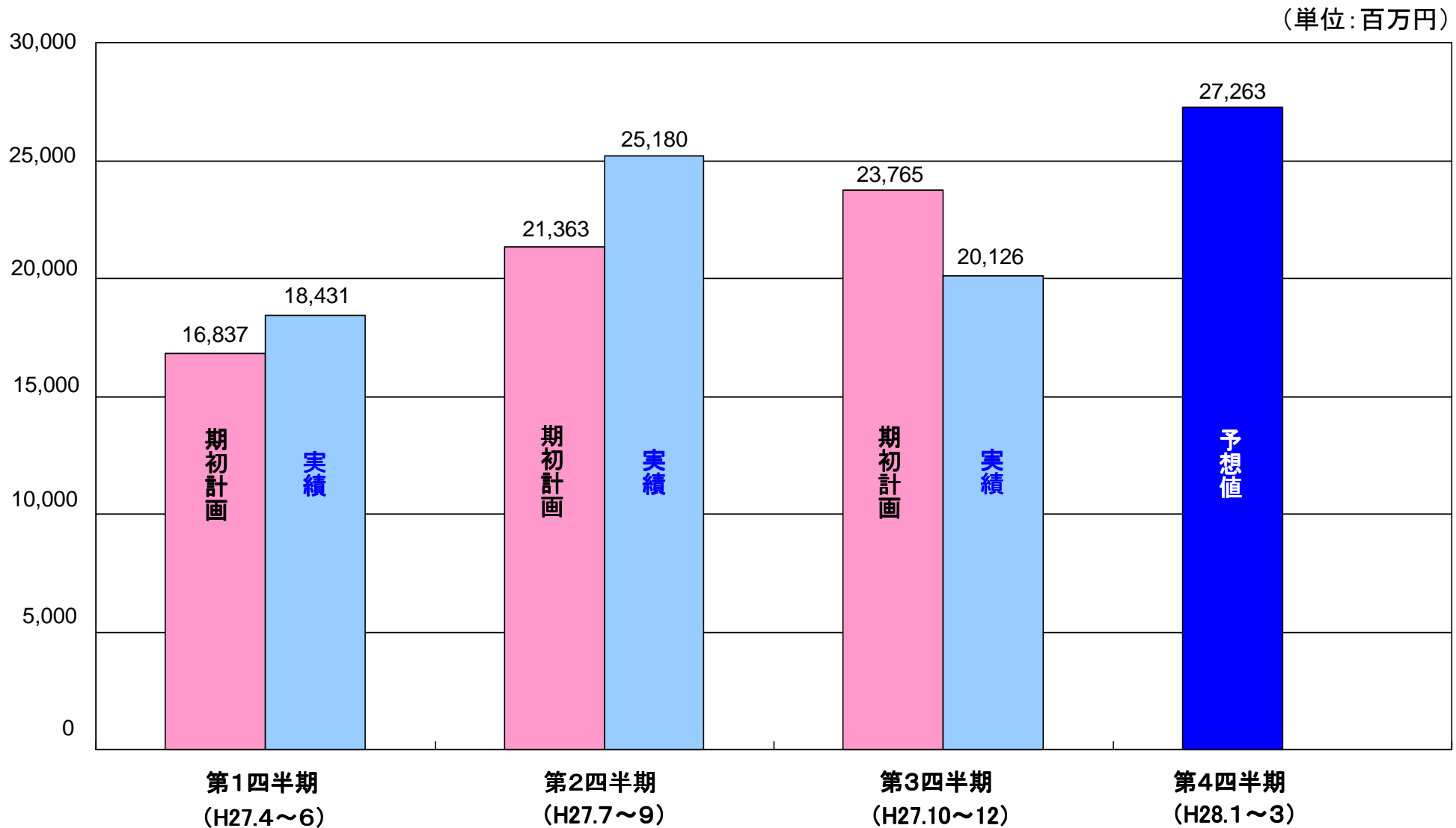
通期連結売上高予想に対する第3四半期 実績進捗率

当第3四半期連結累計期間 売上高	当第3四半期連結 累計期間末の受注 契約残高のうち当 期売上予定分	1月以降の賃貸及び管理の売上予定分	1月以降の受注 契約のうち当期 売上予定分
63,738百万円 (70.0%)	19,027百万円 (20.9%)	3,179百万円 (3.5%)	5,056百万円 (5.6%)

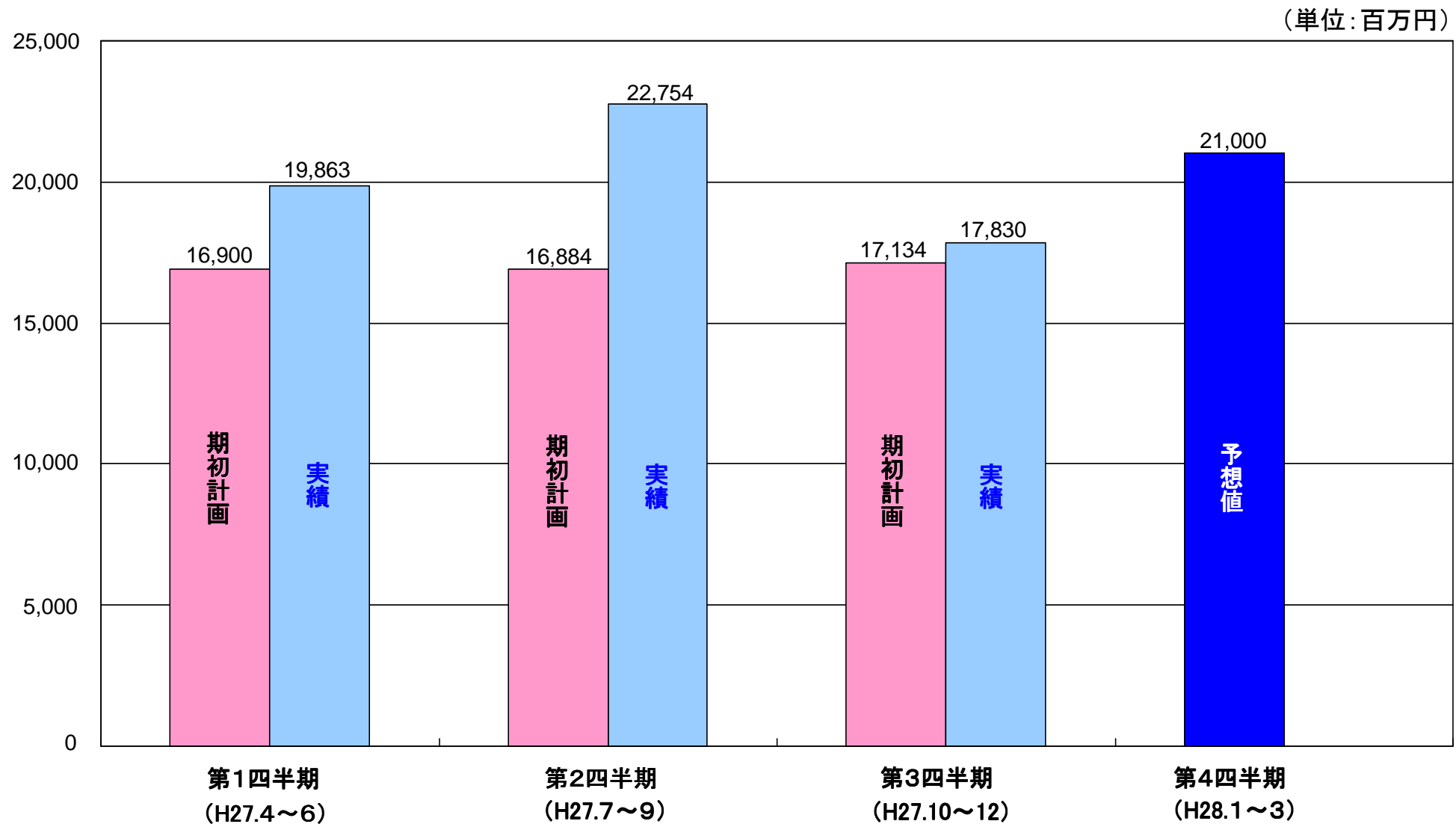


当第3四半期連結累計期間の連結売上高実績(63,738百万円)に、当第3四半期連結累計期間末の受注契約残高のうち、当期売上予定の19,027百万円を加えた82,765百万円(通期目標の91%)が確実に当期の売上高に見込まれます。これに建売・中古住宅及び分譲マンションの一部の1月～3月の受注契約分と、賃貸及び管理の1月～3月の売上高が当期の売上高に加わる見込みであります。

四半期毎の売上高計画推移 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)



四半期毎の受注状況計画推移 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)



事業セグメント別連結売上高(前年同期比較)

(単位:百万円)

		前第3四半期 連結累計期間実績 (H26.4～H26.12)		当第3四半期 連結累計期間実績 (H27.4～H27.12)		前年同期比
分譲住宅	自由設計住宅	354戸	13,059	421戸	15,891	21.7 %増
	分譲マンション	190戸	4,646	178戸	5,099	9.8 %増
	土地販売	3,146㎡	457	9,561㎡	1,580	245.2 %増
	計	544戸 3,146㎡	18,164	599戸 9,561㎡	22,570	24.3 %増
住宅流通	中古住宅	973戸	16,232	1,144戸	19,891	22.5 %増
	建売住宅	85戸	2,331	89戸	2,439	4.6 %増
	土地販売等	256㎡	28	- ㎡	0	98.5 %減
	計	1,058戸 256㎡	18,592	1,233戸 - ㎡	22,331	20.1 %増
土地有効活用	賃貸住宅等建築請負	46件	5,120	19件	3,153	38.4 %減
	個人投資家向け 一棟売賃貸アパート	41棟	4,293	58棟	6,496	51.3 %増
	計	46件 41棟	9,413	19件 58棟	9,649	2.5 %増
賃貸及び管理		-	7,879	-	8,821	11.9 %増
注文住宅		18戸	374	15戸	364	2.5 %減
合計		1,620戸 3,402㎡ 46件 41棟	54,424	1,847戸 9,561㎡ 19件 58棟	63,738	17.1 %増

幸せはこぶ住まいづくり

事業セグメント別営業利益(前年同期比較)

(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間実績 (H26.4～H26.12)	当第3四半期 連結累計期間実績 (H27.4～H27.12)	前年同期比	備考
分譲住宅	949	2,213	133.3 % 増	自由設計住宅の引渡戸数が増加したため、増益となりました。
住宅流通	465	770	65.5 % 増	中古住宅の引渡戸数が大幅に増加し、増益となりました。
土地有効活用	975	576	40.9 % 減	賃貸住宅等建築請負及び個人投資家向け一棟売賃貸アパートの商品構成の変化による利益ミックスにより、減益となりました。
賃貸及び管理	718	648	9.7 % 減	コンピューター投資費用やシニア事業に関連する人員増による投資的経費の増加により、減益となりました。
注文住宅	28	18	34.6 % 減	注文住宅の引渡戸数が減少したため、減益となりました。
合計	3,137	4,228	34.8 % 増	

幸せはこぶ住まいづくり

事業セグメント別受注契約高(前年同期比較)

(単位:百万円)

		前第3四半期 連結累計期間実績 (H26.4~H26.12)		当第3四半期 連結累計期間実績 (H27.4~H27.12)		前年同期比
分譲住宅	自由設計住宅	439戸	16,234	537戸	19,612	20.8 %増
	分譲マンション	215戸	5,727	94戸	2,704	52.8 %減
	土地販売	3,361㎡	471	9,376㎡	1,575	234.3 %増
	計	654戸 3,361㎡	22,433	631戸 9,376㎡	23,892	6.5 %増
住宅流通	中古住宅	993戸	16,511	1,130戸	19,606	18.7 %増
	建売住宅	89戸	2,424	83戸	2,290	5.5 %減
	土地販売等	- ㎡	4	- ㎡	0	90.3 %減
	計	1,082戸 - ㎡	18,939	1,213戸 - ㎡	21,897	15.6 %増
土地有効活用	賃貸住宅等建築請負	39件	4,692	41件	4,516	3.8 %減
	個人投資家向け 一棟売賃貸アパート	68棟	7,641	81棟	9,676	26.6 %増
	計	39件 68棟	12,333	41件 81棟	14,192	15.1 %増
注文住宅		18戸	399	20戸	465	16.7 %増
合計		1,754戸 3,361㎡ 39件 68棟	54,105	1,864戸 9,376㎡ 41件 81棟	60,448	11.7 %増

幸せはこぶ住まいづくり

平成28年3月期の配当について

中間配当金(実績)	1株あたり	13円
期末配当金(予想)	1株あたり	13円
年間配当金(予想)	1株あたり	26円

(ご参考)平成27年3月期

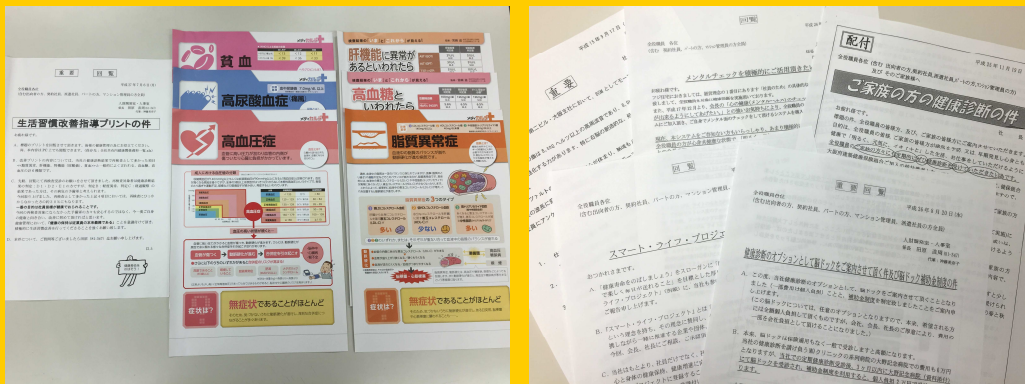
中間配当金(実績)	1株あたり	13円
期末配当金(実績)	1株あたり	13円
年間配当金(実績)	1株あたり	26円

トピックス：フジ住宅が経済産業省・東京証券取引所による「健康経営銘柄2016」に選定されました

「健康経営銘柄」は、東京証券取引所の上場企業の中から、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる優れた企業として選定されるもので、中長期的な視点から業績・企業価値の向上を実現し、株価の向上に繋がることが期待されます。

健康経営銘柄の選定は、「日本再興戦略」による取組みの一環として、昨年より実施され、昨年は東証全上場企業約3,500社中22社、今年度は3,600社中25社が選ばれ今回、不動産業種で初めて当社が選定されることになりました。

家族にも向けた各種健康増進書類を社内で回覧



平成28年1月21日 発表会
(イノホールにて)

プレゼンターの元バドミントン日本代表選手
潮田玲子さん(左)と宮脇宣綱代表取締役社長(右)



経営トップが全社の健康保持・増進の責任者であり、人財開発室の健康推進チームは社員の健康保持・増進を強力に推進しております。短時間労働者に対する会社での健康診断実施等と従業員の家族に健康診断を受けていただきたい旨を、経営トップが全従業員に向けて発信しています。

- ◆ 定期健診では法定内検査項目に加え、腫瘍マーカー、ピロリ菌検査、乳がんエコー検査を全額会社負担にて導入しております。
- ◆ 健康保険組合未加入のパート勤務社員に対しても全額会社負担にて実施し、また事業所内で勤務時間中に健診を実施することにより100%の受診率を達成しております。その他、再検査費用の全額支援や脳ドック補助金制度、家族健康診断斡旋制度等も設けております。
- ◆ 職場環境改善への取組みとしては、全事業所に電解還元水整水器の設置や高気圧酸素ボックスの設置、モーツァルトをBGMとして採用する等があります。

幸せはこぶ住まいづくり

本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる可能性があります。